

野幌森林公園エリアの活性化に向けた「活用イメージ(素案)」への意見等

意見等	対応
【エリア全体】	
○全体コンセプトの再構築(北海道を代表する観光エリア、道民も訪れたい空間、民間資本の導入など)	意見を踏まえ、活用イメージの全体コンセプトを修文。
○道の駅並みの機能充実による観光客の取り込み	エリア全体の活用イメージとして「施設の充実(駐車場、レストラン、お土産)」を追記。
○ヘルスツーリズム、知恵づくりツーリズムの提唱	開拓の村利活用方針(仮称)等において検討。
○有休資産の利活用	
○多機能宿泊エリア	北海道開拓の村の活用イメージとして「宿泊体験」を記載しているところ。
【開拓の村】	
○伝統的技能の人材育成や技能習得・伝承の場としての活用	活用イメージとして「伝統的技能の人材育成や技能習得・伝承の場としての活用」を追記。
○無料エリアの確保による入館客数の確保	活用イメージとして「無料エリアの開放」を追記。なお、具体的な内容は、開拓の村利活用方針(仮称)において検討。
○有料エリアの区分けによる投資の集中化	
○温泉の掘削によるエリア価値向上	開拓の村利活用方針(仮称)において検討。
【北海道博物館】	
○体験展示の導入(VR、AR)	活用イメージ中の「新たな楽しみ方の提供」の例示として「VR、AR」を追加。
○ミュージアムショップ商品開発、カフェテリア改築	活用イメージの一つに「ミュージアムショップの充実」を記載しているところ。また、活用イメージ中の「魅力ある食の提供」の例示として「カフェの充実」を追記。
○学術的な文献・書籍の提供	活用イメージ中の「ミュージアムショップの充実」の例示として「学術的な文献・書籍」を追加。
【塔前広場・駐車場】	
○フラワーパーク、冒険アクティビティ、グランピングスペースの追加	活用イメージとして「体験・遊びの場の提供」の視点を加え、例示として「グランピング」を明記。また、花木植栽の例示として「フラワーパーク」を追記。